

公益信託児玉記念基礎医学研究助成基金 研究助成の募集について

基礎医学系教員、大学院生 各位

児玉記念基礎医学研究助成基金は、(一財)児玉報謝会前理事長(故)児玉利彦先生ならびに現理事長児玉治彦先生のご芳志により昭和60年3月に設立され、以来四半世紀以上にわたり、鹿児島県内の大学、研究機関における基礎医学研究の助成を行い、もって鹿児島大学を中心とする県内の基礎医学研究の振興と人材の育成に寄与しております。

本基金は、三井住友信託銀行を受託者とし、鹿児島大学医歯学総合研究科基礎医系教員からなる運営委員会により基金の運営がなされており、鹿児島県内の基礎医学の優秀な若手研究者の顕彰、基礎医学研究助成と成果発表支援、著名研究者の招聘、若手研究者の国際交流支援などに重点を置いて支援を進めております。

今年度の優秀研究論文顕彰と研究助成は、下記の要領で募集いたしますので、奮ってご応募下さい。学術誌への投稿、国際学会出席、外国人研究者来訪、学会開催や英文コンサルタント費用の助成は、随時受け付けております。詳しくは、別紙「助成項目一覧」をご覧ください。なお、新研究プロジェクト start-up 支援は、非公募(委員会推薦)となりました。

また、新規研究助成を既に受けている方で、後期の助成を希望される方は、中間報告の提出をお願いします。

◎ 優秀研究論文顕彰 (毎年10～11月に募集)

趣旨: 基礎医学分野における優秀研究論文を顕彰。

応募資格: 前年度12月以降に発表された英文論文の筆頭著者(原則、准教授までの若手教員)

◎ 児玉記念基礎医学研究基金 助成

● 新規研究助成 (毎年10～11月に募集)

趣旨: 基礎医学分野の新しいアイデア・手法による研究の着手に対する助成

応募資格: 基礎医学系教員(准教授まで)と大学院生

● 継続研究助成（毎年10～11月に募集）

趣旨： 新規研究の成果が論文として公表され、かつ優秀と認められるものに対する助成

● 新規研究(中間報告)、学術誌への投稿、国際学会出席、海外研究者来訪、全国学会主催は、随時受付中です。

詳細、申請要領： 別紙「助成項目一覧」を参照して下さい。
(不明な点は、基金事務局または運営委員会にお問い合わせ下さい)

送付先：（1）鹿児島大学在籍・受入れが個人の場合：

医歯学総合研究科等総務課 研究協力・倫理審査係

（2）鹿児島大学非在籍・受入れが個人並びに受入れが学会等団体の場合： 基金事務局(東京):下記問い合わせ先を参照ください

封筒に「児玉基金応募」と明記して下さい。

運営委員会委員長

宮田 篤郎（生体情報薬理学）

同運営委員

岸田 昭世（医化学）

西 順一郎（微生物学）

桑木 共之（統合分子生理学）

原 博満（免疫学）

嶽崎 俊郎（国際離島医療学）

問い合わせ先：

〒105-8574 東京都港区芝 3-33-1

三井住友信託銀行株式会社 個人資産受託業務部

公益信託グループ 児玉記念基金事務局宛て（担当：守随）

TEL:03-5232-8910 FAX:03-5232-8919

e-mail: Shuzui_Yoshihiro@smtb.jp

または 運営委員会 宮田（生体情報薬理学）

e-mail: amiyata@m3.kufm.kagoshima-u.ac.jp

○ 個人情報関連規定について

尚、応募にあたっては、下記の個人情報関連規定にご同意頂いたものとします。

応募者の助成金等交付申請書に含まれている個人情報の運営委員会への提供については、センシティブ情報は含まず、かつ助成金交付可否審議上必要最低限の個人情報となっています。応募者は、この個人情報の運営委員会への提供、同委員会における利用目的等に同意したものとみなします。また、当該助成を決定した際の個人情報は、当該公益信託の関係者(委託者・信託管理人)への提供と主務官庁の監査対応のための利用に留めますが、受給者の氏名・所属・助成対象の研究テーマ・業績等については、公表することになっておりますのでご承知下さい。

○ 選考及び助成決定について

冬(12月頃)に開催される運営委員会で審議し、助成可否を決定いたします。

○ 助成金の取り扱いについて

助成金の取り扱いについては、助成者の所属機関の規定に準じて適切に管理してください。

○ 成果の報告について

本基金助成金の受領者は、運用規定に従って研究の成果または経過を報告することになっておりますので、ご承知おき下さい。また、本基金の助成を受けて刊行された刊行物には助成を受けた旨をお書き添え頂くようお願いしております。

和文の場合： 公益信託 児玉記念基礎医学研究助成基金

英文の場合： A Grant from the Kodama Memorial Fund for Medical Research